

平成 29 年度 事業報告について

1.事業の概要

平成 29 年度は、7 月の九州北部豪雨や 9 月の台風 18 号により、県内は甚大な被害を受けました。その一方で、明るい話題として 2 月のピョンチャン五輪の日本人選手の活躍に日本中が沸き上がりました。こうした中、当センターでは「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、市民に親しまれ愛されるシルバー人材センターとして、会員には安全且つ適正就業やコンプライアンス（法令遵守）の推進を図り適正な経営に努めてまいりました。

また、受注拡大、会員増強、安全・適正就業の推進について取り組み、会員数の減少対策として、市主催のイベントでのチラシ配布や市報、ケーブルテレビによる新規会員募集を行い、加入促進を図りました。一層の少子高齢化が進む中、高齢者がいつまでも「生涯現役」として地域社会の活力を支える担い手となり、元気に活動していくことを目指し、ボランティア活動を実施するなど、地域貢献的な事業を推進し、「高齢者の生きがいの充実と福祉の増進」「活力ある地域社会づくり」の実現に向けて役員・会員・職員が一致団結し、積極的に事業を実施いたしました。

平成 29 年度事業実績

項目		平成 29 年度	平成 28 年度	増減	
会員数		473	498	△ 25	
受注件数	公共	450	416	34	
	民間	3,735	3,928	△ 193	
	計	4,185	4,344	△ 159	
契約金額	請負	公共	74,700,009	72,413,295	2,286,714
		民間	147,189,420	150,465,332	△ 3,275,912
		計	221,889,429	222,878,627	△ 989,198
	派遣	22,963,544	22,745,816	217,728	
	合計	244,852,973	245,624,443	△ 771,470	
就業延人数		37,857	39,737	△ 1,880	
就業率		86.3%	86.9%	△ 0.6%	

以下、平成 29 年度の事業について報告します。

1.受注拡大

新規受注開拓や既存発注者へのアフターフォローの強化や追加業務の開拓等を行い、請負・委任では適正を欠くと思われる受注については、一般労働者派遣事業を推進しました。

(1)一般労働者派遣と有料職業紹介の活用・強化

適正就業を推進するため、労働者派遣については、わずかながら契約を増やすことができました。

(2)ホームページによる受注受付

シルバーしごとネットからの受注申込が増えてきました。

(3)新たな就業機会の確保

「空き家等の適正な管理の推進に関する協定」に基づき、市内の空き家等の所有者から作業の依頼には、迅速・適正に対応し、空き家等の管理不全の防止の一翼を担いました。

2.会員増強

様々な機会を捉え新規会員獲得に努めるとともに、就業機会の拡大、長期就業の見直しによるワークショップを行い、就業率を高めることで、退会会員数の減少を図りました。

(1)会員募集活動

会員募集のため、市の広報誌やケーブルテレビ、折込チラシで入会説明会をお知らせしましたが、出席者が少なく入会者の増には繋がりませんでした。

(2)就業機会の拡大

会員の適正就業推進基準により、長期就業会員の交代を進めていますが、後任の会員がいないところは引き続き就業してもらっている状況です。

(3)研修・講習会の充実

ア.個人情報保護法の改正や接遇について会員研修会で説明をしました。

イ. 10月に草刈講習会、2月に剪定講習会を開催し、会員のレベルアップを図りました。

(4)会報誌の見直し、充実

「シルバーだより豊肥」や「事務局だより」を発行し、会員の活動状況や事務局からのお知らせを掲載しました。

3.安全・適正就業の推進

安全委員会の機能強化や各種安全啓発研修等、様々な機会を捉え、安全就業の啓発を進め、事故防止に努めました。会員の就業中及び就業途上における事故防止対策に努めました。

(1)安全委員会活動の推進

安全委員会による就業現場のパトロールを実施し、会員の安全意識啓発を図り、事故発生抑止に努めました。

(2)安全啓発研修の開催

グラウンドゴルフ大会や剪定、草刈講習会時に安全啓発を図りました。

(3)シルバー保険への加入

平成 29 年度の就業中の事故のうち保険対象件数は 22 件でしたが、保険加入により会員の補償及び賠償に対応しました。

(4)適正就業の推進

就業における事故をなくすためには、会員の安全意識を高めることが大事であり、機会あるごとに会員の安全意識の向上を図りました。

又、新規受注に対しては、適切な就業形態に努め適正化を図りました。

4 会員の自主活動支援

ボランティア活動やグラウンドゴルフ大会、研修・交流会を通して、会員が交流を図り親睦を深めるための支援を行いました。

地区別ボランティア活動・グラウンドゴルフ大会、研修・交流会参加者数

地区	三重	清川	緒方	朝地	大野	千歳	犬飼	竹田	荻	久住	直入	計
ボランティア	34	8	11	8	13	10	8	34	6	5	9	146
グラウンドゴルフ	21	3	2	3	6	2	9	16	3	0	1	66
研修交流会	36	6	7	4	7	6	4	28	4	6	5	113

5 効率的事業運営の推進

(1)経営基盤の確立

事務事業の効率的な取組を強化し、計画に基づいた予算執行を行い、経費削減に努めるとともに健全な事業運営を図りました。

(2)事務局・職員のスキルアップ

職員の事務能力・営業力の向上を図り、センター事業を適正に運営するため、大分県シルバー人材センター連合会主催の職員研修や事業の電算管理システム研修会に参加しました。

(3)中期推進計画

契約金額は目標値をクリアできましたが、会員数、就業率等については目標値に及びませんでした。